

令和5年3月22日（水）株式会社富士通総研主催

令和4年度厚生労働省老人保健健康増進等事業

中山間地域等における自治体と地域密着型産業との  
協働による地域包括ケアの構築に向けた調査研究事業  
事業報告会

# コメダ珈琲店と連携した 岡山市認知症事業の取り組み

公益財団法人 岡山市ふれあい公社  
福祉部 地域包括支援課  
溝邊 紗代子

# 岡山市の概要



- 平成21年4月1日、全国で18番目の政令指定都市に移行。
- 中国地方で広島市に次ぐ2番目の都市
- 人口：71万人（政令市19位/20市）
- 市域面積：789.95km<sup>2</sup>  
(政令市6位。東京23区の1.3倍、大阪市の3.5倍)

岡山市	
人口	702,808人
世帯数	337,966世帯
高齢者人口	188,152人
高齢化率	26.8%

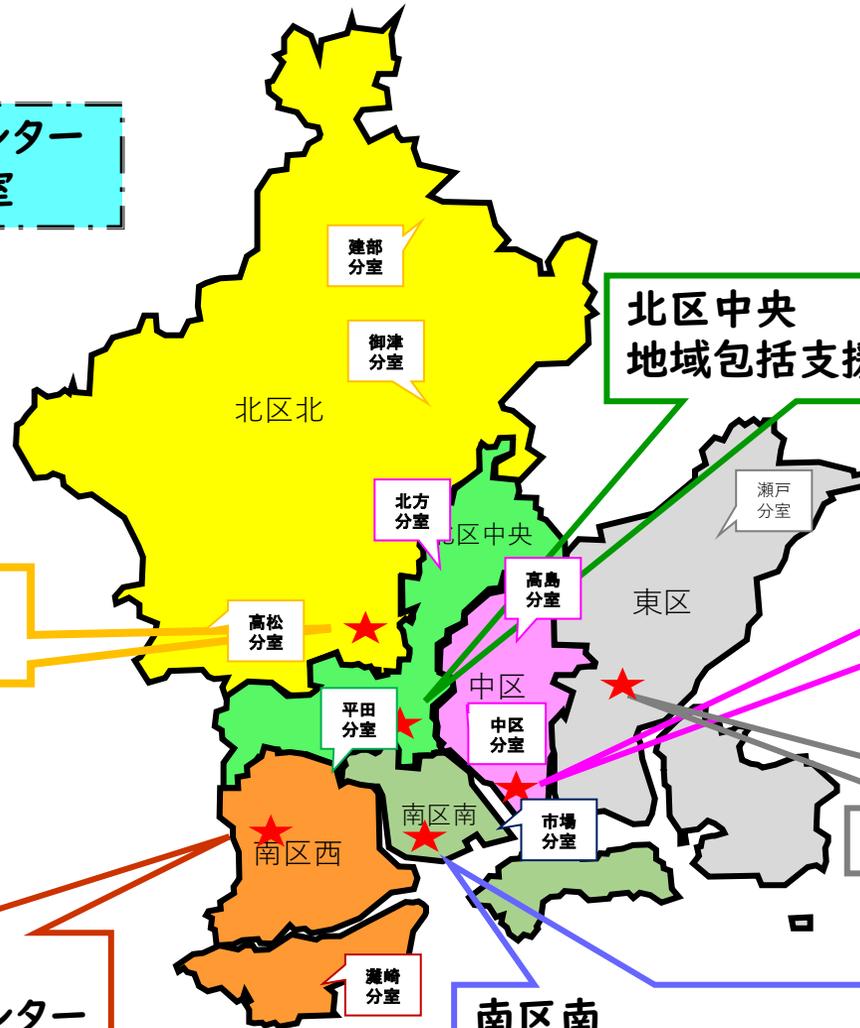
住民基本台帳人口  
(令和4年9月末現在)



# 岡山市地域包括支援センター



岡山市地域包括支援センター  
6本センター・10分室



北区中央  
地域包括支援センター



中区  
地域包括支援センター



東区地域包括支援センター



北区北  
地域包括支援センター



南区西  
地域包括支援センター



南区南  
地域包括支援センター

# ▶▶ 地域包括支援センターの目的



(介護保険法第115条の46第1項)

地域包括支援センターとは、

「地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする施設とする」

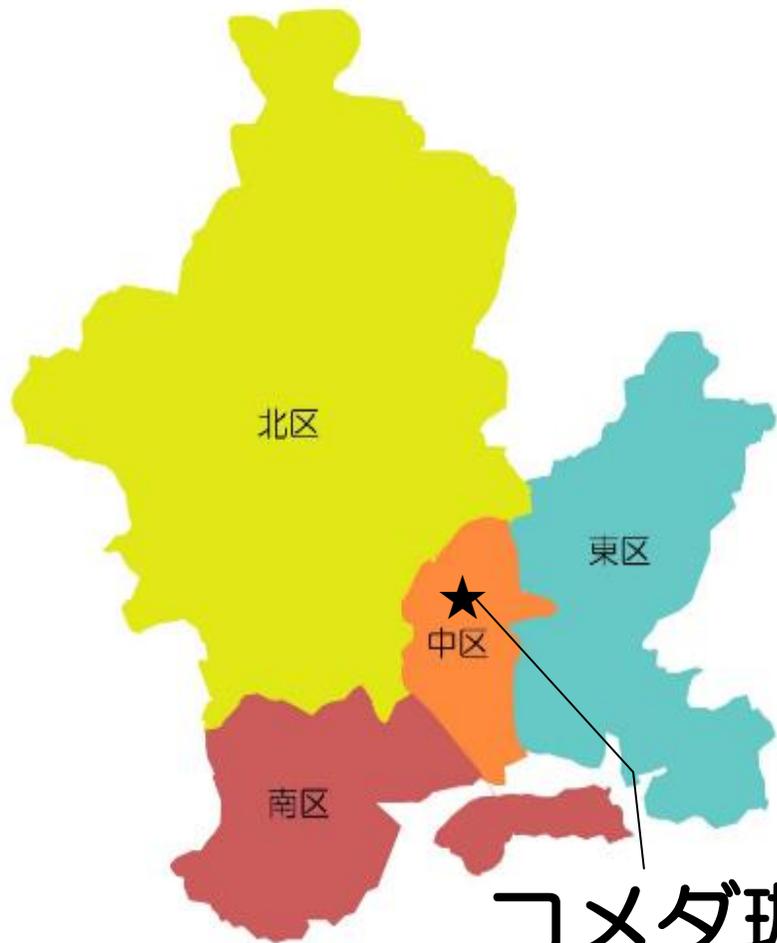
地域包括支援センターの目的

ひとりひとりの高齢者を  
自助・互助・共助・公助の組み合わせにより  
地域で包括的および継続的に支える



地域包括ケアの推進

# コメダ珈琲店東岡山店のある地域 ～岡山市中区地域包括支援センター管内～



## 岡山市中区

人口	147,272人
世帯数	69,569世帯
高齢者人口	38,490人
高齢化率	26.0%

住民基本台帳人口  
(令和4年3月末現在)

## コメダ珈琲店東岡山店

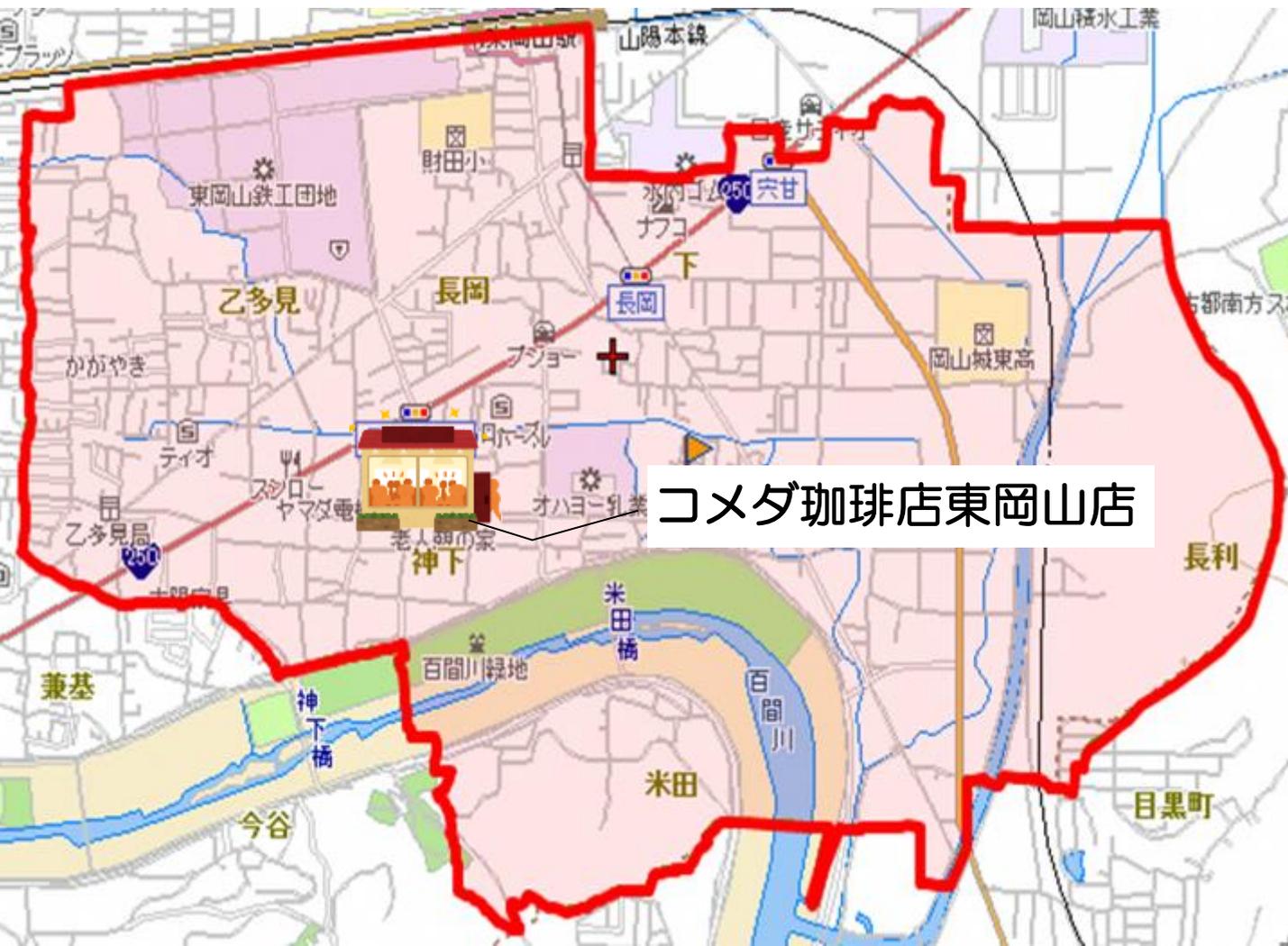


# 地域の特性

～岡山市中区財田小学校区～



岡山市地域包括支援センター  
Okayama City Community General Support Center

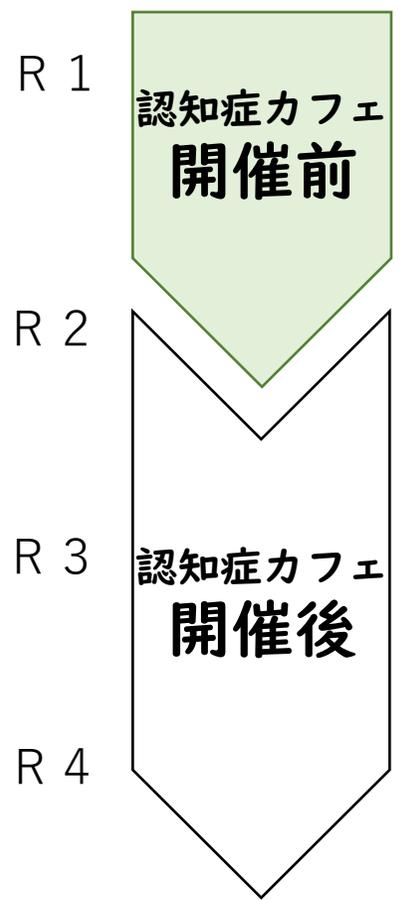


- ・国道250号線に商業施設が点在、バス路線もあり便利が良い
- ・サロン活動は活発だが、集会所など場所がなく、集う場に困ることもある
- ・国道より南は旧住宅地と新住宅地があり、新住宅地では地域のつながりを作る動きがある
- ・令和4年度に多世代交流の場として「たから食堂」が開始



# コメダ珈琲店との連携の歴史

～企業のニーズをキャッチし地域の取り組みへ～



- コメダ珈琲店が認カフェ開催について岡山市高齢福祉課へ相談あり
- コメダ珈琲店・岡山市高齢者福祉課・岡山市中区地域包括支援センター(認知症担当職員)で話し合い
- コメダ珈琲店が開催に向けてチラシ・ポスター作製し来店者へPR
- 地域包括支援センターが民生員会やサロン等地域で紹介。

# 令和元年 コメダ珈琲店の思い

～認知症と思われる常連客との出会いがきっかけ～



岡山市地域包括支援センター  
Okayama City Community General Support Center

- お客さんは比較的高齢者が多い
- 別店舗に認知症のお客さんが来店した際に、店員がうまく対応できなかったことや家族に連絡対応したことから、認知症の人でも来店できる工夫の必要性を感じた。
- 認知症カフェを開催したい。

対応する店員が認知症について正しく理解するため  
**認知症サポーター養成講座受講**

# 認知症サポーター養成講座

## ～認知症の普及啓発～



認知症サポーターとは

認知症を正しく  
理解する

その人たちを  
温かく見守る

本人・家族の  
地域の応援者



- 岡山市の公共施設での定期開催
- 地域で出前講座開催

令和元年11月

# コメダ珈琲店との話し合い①

～コメダ独自の開催方法を意見交換～



岡山市地域包括支援センター  
Okayama City Community General Support Center

- ・認知症に関心のある人ならだれでも参加できるようにしたい。
- ・ゆくゆくは**認知症の人や家族が集まれる会**になればと思う。
- ・広報はどのようにしていこうか。
- ・慣れるまでは市や包括のフォローをお願いしたい。



- ・市内では他の認知症カフェも開催しているので、できるだけ重ならない日で定期開催が良いと思う。
- ・**認知症の人や家族が集まり、思いが語れる場**になって欲しい。
- ・広報のためにもチラシ作成は必要。市や包括も広報協力できる。
- ・開催後のフォローアップも可能。

(株)トクラ運輸  
ゼネラルマネジャー  
コメダ珈琲店東岡山店  
店長



岡山市高齢者福祉課  
岡山市中区地域包括支援  
センター 認知症担当職員



令和2年1月～

# オレンジスペース

(コメダ珈琲店東岡山店)

# Open

認知症カフェ



ようこそ認知症カフェへ

認知症サポーターがご案内します!

## オレンジスペース

予約不要

オレンジスペース（認知症カフェ）は、  
認知症について知り、相談できる場所です。  
地域に暮らす住民の方々の誰もが気軽に参加できる  
スペースを提供いたします。

時間

毎月第3火曜日開催  
(祝日は別日)  
14時～16時

費用は飲食代のみ。  
くつろぎの時間・交流とともに  
必要に応じて気軽に相談もできます。



珈琲所  
コメダ珈琲店

東岡山店

岡山県岡山市中区神下137-1 ハリウッド東岡山駐車場内 TEL: 086-208-6464

### 【開催日時】

毎月第3火曜日 14時～16時  
(祝日の場合は翌日)

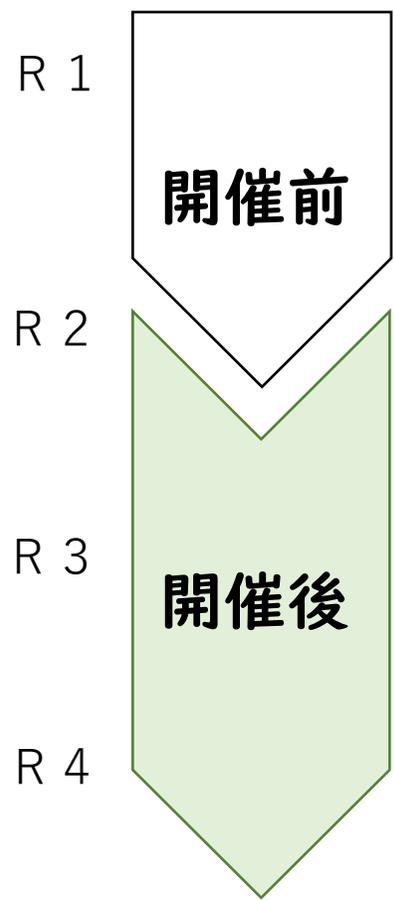
費用は飲食代のみ。くつろぎの時間・  
交流とともに必要に応じて気軽に相談も  
できます。





# コメダ珈琲店との連携の歴史

～企業のニーズをキャッチし地域の取り組みへ～



- 〈岡山市〉
  - HP・認知症カフェ一覧へ掲載
  - 認知症カフェ運営者の交流会案内
- 〈岡山市地域包括支援センター〉
  - 開催時には毎回参加
  - 認知症の人や家族への紹介
  - 地域（民生員会やサロンなど）へ紹介
  - SCとの連携、情報交換・共有
  - 関係機関（医療・介護・福祉分野）への情報提供
  - 他の認知症カフェ運営者とのつなぎ

# 開催の様子



徐々に多様な参加者が自由に参加でき情報交換の場に  
認知症の人や家族の声も聞けるようになってきた

# カフェ参加者の声



認知症の人・家族  
認知症サポーター（地域の  
方・コメダ珈琲店店員）

**認知症の人：**

「家にずっといるには嫌。でも行くところもない」

**家族：**

「家族で過ごすことが主。家族以外の人と楽しく過ごすことが刺激になると思う」

**認知症サポーター：**

「交流はすでにできているが、もっと活動できることはないか」

令和4年7月

# コマダ珈琲店と話し合い②



## 〈コマダ珈琲店〉

- ・創業当時のように地域に密着し、地域の人が自然に集う場でありたい
- ・高齢になっても認知症になっても気軽に利用できる店にしたい
- ・カフェで認知症の人や家族の希望を聞いて、できることは提案したり、一緒にしたりしていきたい。

コマダ珈琲店  
営業本部スーパーバイザー  
東岡山店店長  
岡山市高齢者福祉課  
岡山市中区地域包括支援センター

チームオレンジ組成・参加へ

# チームオレンジ

(認知症サポーター活動促進事業・地域づくり推進事業)



## 地域における認知症の当事者・家族の支援体制の充実・強化

### チームオレンジとは

認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続ける上での色々なバリアを減らしていく取り組みをすすめ、地域・企業・医療福祉も含めた関係者との協力のもと、「**認知症の人がどう暮らしていきたいか**」という「声」を聴いた地域づくりの活動です。



### 【モデルとして働きかけ】

オレンジスペースに参加している認知症の人と家族から認知症サポーターの活躍を促進・企業と連携した活動。

### 取り組み内容

#### ○モデル地区の選定

包括地区の社会資源の掘りおこしを実施。また、包括や認知症地域支援推進員、初期集中チーム員等が関わる認知症当事者の状況を元に、モデル地区を選定。

#### ○モデル地区への事前説明

町内会や民生委員会などに、チームオレンジの主旨を説明。取組に賛同するキーパーソンや認知症サポーターと話し合いを進めていった。

#### ○当事者、家族への事前説明

当事者や家族のニーズをあわせて把握したチームオレンジの活動について主旨を説明。



#### ○ステップアップ講座の開催

認知症サポーター養成講座を終了し、モデル地区でメンバーとなり活動される方を中心に開催。当事者や家族の支援ニーズを考えていく内容で開催。

#### ○当事者とサポーターとのマッチング

ステップアップ講座修了生と当事者や家族が集い活動のキックオフに向けて、やりたことを話し合った。

令和4年7月～8月

# メンバーで活動を考える①



ステップアップ講座（1日目）：認知症サポーターのみ



認知症サポーター養成講座振り返り



グループワーク

認知症サポーターと  
なっているチームのメ  
ンバーが改めて  
認知症を正しく理解

「認知症の人とその家族の思いに寄  
り添っていく」「自分のことを話せ  
るような場がよい」「もっと本人や  
家族の声を聞かないといけない」

令和4年7月～8月

# メンバーで活動を考える②



ステップアップ講座（2日目）：認知症の人とその家族含む



グループワーク

本人・家族のグループ  
に分かれて受講者（認知  
症サポーター）らでその  
思いを聴く

## 〈認知症の人のグループ〉

「岡山は住み慣れた地域ではない。岡山は  
10年前に移住してきたところ。近くに友人  
がいないことが寂しい」

「なんであっても、自分が楽しいと思えな  
いとね。」

## 〈家族のグループ〉

「男性が女性を介護するということは難しい  
と感じる」「同じ立場の人と話したい」

「夫が若年性認知症と診断を受け介護してき  
た。当時は本人も家族も孤独であった。  
こうやってつながっていることが大切。」

令和4年7月～8月

# メンバーで活動を考える③



ステップアップ講座（3日目）：認知症サポーターのみ



チームオレンジの活動について意見交換

コメダ店長：  
オレンジスペースの充実も大事。アンケートとかで声を聴いていこうかな。

認知症サポーター：  
本人のやりたいこと、家族のやりたいこと違うんじゃない？**まずは本人・家族と一緒に考えるところからが大切！！！！**

認知症サポーター：  
まだつながっていない認知症の人や家族ともつなげがっていかんといけんじゃる！！！！

令和4年11月

# チーム名決定！！



## 『さんかく屋根の会』

コメダ珈琲の建物の形から「三角屋根の店」と呼ばれる。屋根の「三角」とメンバーの「参画」をかけて「さんかく屋根の会」とチーム名決定。



認知症の人同士・  
家族同士が話せる会  
を企画して  
みよう！！



### チームメンバー

認知症の人・家族・地域包括支援センター  
地域の認知症サポーター（コメダ珈琲店店員、民生委員、介護専門職など）



# 活動の様子



岡山市地域包括支援センター  
Okayama City Community General Support Center

語り合う

共感できる  
仲間

楽しむ



毎月第3火曜日のオレンジスペースでメンバーが集まる。参加している認知症の人や家族の希望から活動し、企画・準備をする際には、別日で打ち合わせをすることもある。

令和5年1月は認知症の人やその家族同士で集まって座談会をしました。  
一組ずつでも、こうやってつながっていければ・・・という思いに。

# 「つながる」ことで前に進める！！

## 住民・企業・市との連携



コメダ珈琲店東岡山店で開催している認知症カフェ（オレンジスペース）に参加する認知症の人・家族のニーズから認知症サポーターの活躍を促進・企業と連携した活動。

# 岡山市の誰もが 自分の希望をかなえる地域へ

